

K.UNO NEWS LETTER | Vol.01

ケイウノ オーダーメイド広報通信

毎月1回、ジュエリーやオーダーメイドに関する、さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けする「ケイウノ オーダーメイド広報通信」

チャンピオンリングは勝利の証 だから、最高のものをつくりたい



ケイウノは全国に35店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。このたびケイウノが取り組む活動や、サービスについての広報誌発行を開始いたします。

記念すべき第1号にご登場いただくのは、社会人アメリカンフットボールチーム「富士通フロンティアーズ」で活躍する中村輝晃クラーク選手。同チームは2016年のシーズン、リーグ戦を全勝で通過し、社会人アメリカンフットボール選手権「JAPAN X BOWL」で優勝。さらに本年1月3日の「RICE BOWL」で、関西学院大学に勝利し、2年ぶりの日本一に輝きました。「これまでと違うフロンティアーズだった」というチームの様子や、勝者だけがつくり出すことのできるチャンピオンリングについてのこだわりを中村選手に伺いました。

中村輝晃クラーク

1988年生まれ。駒場学園高等学校から日本大学を経て2011年富士通フロンティアーズに入社・入団。オフェンスチームのWR(ワイドレシーバー)として活躍。2014シーズン、2016年シーズンで、Xリーグ所属18チームからの相互投票により、活躍選手が選出される「オールX」を受賞。背番号は81。好きなものはスパゲティ。趣味は寝ること。

チーム全体がうまくフィットして勝ち得た日本一の座

中村選手が所属する「富士通フロンティアーズ」は、2016年強豪ひしめく、社会人アメリカンフットボール選手権「JAPAN X BOWL」で優勝。そして年頭、アメリカンフットボールの日本一を決定する「RICE BOWL」で、関西学院大学に勝利し、見事日本一の座に。同ゲームでは、中村選手も2本のタッチダウンパスを受け優勝に貢献するという活躍ぶりを発揮しました。2016年のシーズンは、富士通フロンティアーズにとって、そして中村選手にとってどのような1年間だったのでしょうか。

「僕たちフロンティアーズは、社会人アメリカンフットボールリーグである、Xリーグに所属しているんですが、今シーズンから、リーグの対戦方式が変更になって、初戦から強いチーム

同士が当たるようになったんです。力が拮抗した同士が戦うので、接戦が多く気が抜けない。戦うのは大変なんですけど、ゲームとしてはすごく面白くなったと思います」

そんな厳しい対戦方式になった今シーズンだからこそ、フロンティアーズが勝ち取った、全勝での優勝は「パーフェクトシーズン」とよばれる大変な名誉。さらに、決勝で激突したオービックシーガルズは往年のライバルでもあって、16-3のスコアで手にした勝利は、また格別だと中村選手は目を輝かせます。

「僕が入ってからのフロンティアーズは、上位には必ず入る強いチームで、決勝まで行くのですが、最終的に勝てない、というちょっともやもや

した時期があったんです。試合でもリードしていたのに、最後の最後に逆転されて、負けてしまうことも結構あって。でも、今シーズンは違いましたね。途中で負けかけても、気持ちが落ちない。最後まで粘って戦って勝つことができパーフェクトシーズンで終わられたのは本当にうれしいです。決勝でオービックシーガルズと戦えて勝ったことも、すごく自信につながります」

「チーム全体がすごくうまくフィットしている」と、試合の様子やチームの話をする中村選手は、本当に楽しそうに話してくださいました。フロンティアーズで試合をすることの充実感やチームの一員であることの誇らしさが、手に取るように伝わってきます。そして話はチャンピオンリングのことに。

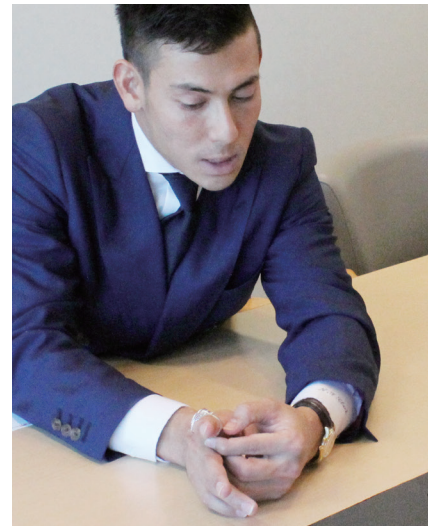
目指すは、10個のチャンピオンリング

チャンピオンリングはアメリカンフットボールや野球などのスポーツで、1年のシーズンを制覇し、優勝したチームのみが製作することができる特別な指輪。前回2015年「RICE BOWL」を制したフロンティアーズが、初めてチャンピオンリングを製作することになった際、選手を通じたあるご縁から、ケイウノがつくらせていただくことになりました。

「アクセサリーに特に興味があるというわけではありませんが、なんといってもチャンピオンリングは優勝しなければつくれる、勝利の証のようなもの。僕にとっては宝物です。

前はチームにとって念願の初優勝だったので、チャンピオンリングは絶対にいいものをつくりたいと思って、デザインを考えるチームにも自主的に参加しました。だから、完成度の高い、すばらしいリングができあがった時は本当にうれしかったですね」

実は、チャンピオンリングは、商慣習的に何となく発注先が決まっていて、ケイウノのようなジュエリーを手がける会社がチャンピオンリングに携わるのは、業界でも珍しく、フロンティアーズが初めてのことだそうです。中村選手の言葉は、製作する側にとって何よりの励みです。



チャンピオンリングは、友人や知人の結婚式には必ずつけて出席します。普段は、クリアケースに入れて、テレビの横に大切に置いてあります。テレビを見る度に、リングが僕を見ている感じがですね（笑）。リングを製作した時基本的には、僕たちの方からは自分たちの想いや入れたい要素をあれこれ伝えて、まとめていただいたのですが、ケイウノさんはすごくタフ！

どんなわがままを言っても「大丈夫です」と言ってくださるのが、すごく頼もしいです」

「小さなリングに、チームのスローガンや戦績など、たくさんの情報をきれいにに入れてくださることに驚いています。チーム全体の情報だけではなく、一人ひとりの名前や背番号が入るのも、自分だけのリングという感じでモチベーションが上がります。両手の指全部にはめられるように、とりあえず10個はほしいですね（笑）」

中村選手がこよなく愛するアメリカンフットボール。近年、海外からの有力選手が加わることも多く、リーグ全体の実力が上がっているとのこと。4月からは、Xリーグの春季公式戦である「PEARL BOWL2017」が始まり、東日本12チームが勝利を競う熱いシーズンの幕が開きます。

ケイウノはお客様の特別な感動と喜びを贈り続けるため、個人のお客様だけでなく企業様や団体向けにオリジナルでジュエリーを初めとする様々なアイテムをオーダーメイドでお作りしています。

2月の誕生石 アメシスト

石名の由来はギリシア神話に登場する美しい少女から。見る者を魅了する透明感のある紫は、バイオレット、ライラック、レッドパープルなどさまざまな色合いが存在しています。

写真はケイウノオリジナルの「Luna crescente ~ traboccare ~ ルナ・クレッシェンテ・トラボカレ」シリーズ。満月へと向かう月の秘めたパワーはあふれるほどに強いもの。そんなパワーをアメシストの高貴な紫色にこめて…。

繊細なデザインを引き立てる細やかで美しい透かし模様は、ケイウノの職人が一点一点手作りで制作しています。

